

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成26年1月30日

上場会社名 株式会社タケエイ 上場取引所 東
 コード番号 2151 URL http://www.takeei.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口仁司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 奥石 浩 (TEL) 03 (6361) 6820
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	19,037	9.3	2,587	3.0	2,429	2.7	1,309	△4.4
25年3月期第3四半期	17,425	37.5	2,511	85.4	2,364	101.7	1,370	145.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,452百万円 (2.2%) 25年3月期第3四半期 1,420百万円 (140.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	63.57	61.35
25年3月期第3四半期	73.46	71.67

(注) 当社は平成25年7月1日付で、普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。このため、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	36,290	21,140	56.8
25年3月期	34,808	15,281	42.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 20,606百万円 25年3月期 14,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
26年3月期	—	5.00	—		
26年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

2 平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、平成26年3月期の第2四半期末及び平成26年3月期(予想)の配当金は、分割後の基準で算出しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	25,000	3.2	3,400	△7.8	3,100	△11.3	1,700	△18.0	80.53

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

2 1株当たり当期純利益については、平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行った影響を考慮しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・☒無
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : ☒有・無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・☒無
② ①以外の会計方針の変更 : 有・☒無
③ 会計上の見積りの変更 : 有・☒無
④ 修正再表示 : 有・☒無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期3Q	23,177,600株	25年3月期	19,792,800株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	292,049株	25年3月期	740,859株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期3Q	20,604,108株	25年3月期3Q	18,661,397株

(注) 当社は平成25年7月1日付で、普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。このため、期末発行済株式数 (自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数 (四半期累計) は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提になる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料1ページ「連結業績予想に関する定性的情報」) をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	1
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)における当社グループの業績につきましては、前年度からの継続事業である東日本大震災災害廃棄物処理再資源化事業や、グループ連携効果の伸長等により、売上高は19,037百万円(前年同四半期比9.3%増)、営業利益は2,587百万円(前年同四半期比3.0%増)、経常利益は2,429百万円(前年同四半期比2.7%増)、四半期純利益は1,309百万円(前年同四半期比4.4%減)となりました。

主要なグループ会社の状況につきましては以下のとおりです。

- 株式会社タケエイ：東北地域で取り組んでいる災害廃棄物処理再資源化事業は順調に進捗し、災害廃棄物の受け入れを終了しました。また、社会インフラの老朽化対策として恵那山トンネル下り線の天井板撤去工事に取り組みました。
- 株式会社リサイクル・ピア：平成23年11月からスタートした東京都の災害廃棄物受入処理事業については受け入れ体制を強化して対応し、平成26年1月に受け入れを終了しました。
- 株式会社北陸環境サービス：大型スポット案件等の寄与により、大幅な増収増益となりました。
- 株式会社ギプロ：都内再開発案件等が寄与し、高水準で推移しました。
- 株式会社池田商店：年末以降、再開発に伴う受け入れが増えており、復調傾向にあります。
- 環境保全株式会社：平成23年1月に開設した仙台支店の大幅な伸長等により、大幅な増収増益となりました。
- 諏訪重機運輸株式会社及び橋本建材興業有限会社：恵那山トンネル天井板撤去工事やグループ連携効果等のほか、消費税増税前の駆け込み需要も加わり、増収となりました。
- その他のグループ会社：平成25年1月に連結子会社化した株式会社金山商店は、順調に推移しました。また、平成25年4月に連結子会社化した株式会社アースアプレイザルにつきましても、収益構造の改善が計画どおり進んでおります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は36,290百万円(前連結会計年度比1,482百万円の増加、前連結会計年度比4.3%増)となりました。流動資産は12,896百万円(前連結会計年度比1,512百万円の増加)となりました。これは、受取手形及び売掛金が1,479百万円減少しましたが、現金及び預金が2,332百万円増加したこと等によります。固定資産は22,964百万円(前連結会計年度比85百万円の減少)となりました。これは、機械装置及び運搬具が474百万円増加しましたが、建物及び構築物が133百万円、最終処分場が332百万円減少したこと等によります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は15,150百万円(前連結会計年度比4,376百万円の減少、前連結会計年度比22.4%減)となりました。流動負債は7,380百万円(前連結会計年度比3,771百万円の減少)となりました。これは、短期借入金が400百万円、1年内返済予定の長期借入金742百万円、1年内償還予定の社債700百万円、並びに未払法人税等が893百万円減少したこと等によります。固定負債は7,770百万円(前連結会計年度比604百万円の減少)となりました。これは、長期借入金335百万円、その他(長期リース債務)が160百万円減少したこと等によります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は21,140百万円(前連結会計年度比5,858百万円の増加、前連結会計年度比38.3%増)となりました。これは、資本金2,036百万円、資本剰余金2,473百万円及び利益剰余金1,068百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今期の連結業績予想については、平成25年10月23日に修正した予想を据え置きます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却費について、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

②繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合、前連結会計年度で使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,614	7,946
受取手形及び売掛金	4,823	3,343
商品及び製品	10	9
仕掛品	39	62
原材料及び貯蔵品	257	286
繰延税金資産	280	165
未収入金	176	422
その他	196	671
貸倒引当金	△15	△13
流動資産合計	11,383	12,896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,961	5,828
機械装置及び運搬具(純額)	2,323	2,797
最終処分場(純額)	1,727	1,395
土地	9,341	9,387
その他(純額)	1,342	1,105
有形固定資産合計	20,697	20,513
無形固定資産		
のれん	731	697
その他	75	109
無形固定資産合計	806	806
投資その他の資産		
投資有価証券	196	310
繰延税金資産	243	218
その他	1,138	1,174
貸倒引当金	△31	△59
投資その他の資産合計	1,546	1,644
固定資産合計	23,050	22,964
繰延資産	374	429
資産合計	34,808	36,290

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	853	789
短期借入金	1,952	1,552
1年内返済予定の長期借入金	3,802	3,059
1年内償還予定の社債	700	—
未払法人税等	1,209	316
和解費用引当金	41	—
その他	2,593	1,662
流動負債合計	11,152	7,380
固定負債		
社債	150	150
長期借入金	6,700	6,364
繰延税金負債	293	279
退職給付引当金	171	165
資産除去債務	416	421
その他	642	388
固定負債合計	8,374	7,770
負債合計	19,526	15,150
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,189	6,225
資本剰余金	4,434	6,908
利益剰余金	6,390	7,458
自己株式	△207	△82
株主資本合計	14,807	20,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	96
その他の包括利益累計額合計	34	96
少数株主持分	439	533
純資産合計	15,281	21,140
負債純資産合計	34,808	36,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	17,425	19,037
売上原価	12,717	14,050
売上総利益	4,708	4,987
販売費及び一般管理費	2,196	2,399
営業利益	2,511	2,587
営業外収益		
受取利息	0	0
受取賃貸料	13	10
持分法による投資利益	44	—
その他	37	28
営業外収益合計	97	39
営業外費用		
支払利息	185	140
持分法による投資損失	—	8
その他	59	47
営業外費用合計	244	197
経常利益	2,364	2,429
特別利益		
固定資産売却益	60	43
その他	—	0
特別利益合計	60	43
特別損失		
固定資産売却損	0	0
段階取得に係る差損	—	12
和解金	—	14
減損損失	1	—
特別損失合計	1	27
税金等調整前四半期純利益	2,424	2,446
法人税、住民税及び事業税	940	896
法人税等調整額	41	159
法人税等合計	981	1,055
少数株主損益調整前四半期純利益	1,442	1,390
少数株主利益	71	80
四半期純利益	1,370	1,309

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,442	1,390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	59
持分法適用会社に対する持分相当額	1	2
その他の包括利益合計	△21	61
四半期包括利益	1,420	1,452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,348	1,371
少数株主に係る四半期包括利益	71	80

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

当社は、平成25年8月19日開催の取締役会において、公募による新株式の発行(一般募集)及び第三者割当による自己株式の処分を行うことを決議し、平成25年9月3日を払込期日として普通株式3,200,000株を新規発行し、平成25年9月24日を払込期日として普通株式450,000株の処分を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が2,001百万円増加、資本剰余金が2,439百万円増加、自己株式が125百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が6,225百万円、資本剰余金が6,908百万円、自己株式が82百万円となっております。